

オープンキャンパス

生田キャンパスに1300人

学生スタッフの企画が大好評！

鳳祭期間中の11月5日、生田キャンパスでオープンキャンパスが行われ、約1300人の受験生、ご父母、教員らが訪れた。

9号館5階アトリウムでの個別相談や模擬授業、キャンパス見学のほか、学生スタッフたちによる「トークLIVE」会場では、スタッフたちが撮影した、「専大ライフ」のさまざまな場面の写真を展示。来場者から、「大学生活の実際をイメージできた」と好評だった。学生スタッフは、このほかにも受付や会場案内に大活躍し、未来の後輩たちに「専大で学ぶ楽しさ」をアピールした。



▲資料配布コーナーには多くの受験生が集まった



▲大活躍の学生スタッフたち

自分流の未来が見つかる「高校生のための大学セミナー」

高校生たちに自分の興味や将来の目的にあった大学選びをしてもらおうと、専修大学高大連携連絡協議会主催「高校生のための大学セミナー」が11月4日、生田キャンパスで開かれ、約80人の高校生、高校教員が参加した＝写真。

「大学ナビ I」で、大学の仕組みや高校との違いを紹介。「同 II」では、留学体験をした現役学生の体験談や就職活動を通して将来への道を切り開いた4年次生との交流が行われた。「学部ナビ」で、大学の学びの系統を「社会学系」「心理学系」などに分けて説明。「経済・経営・商学系」についてはシンポジウム形式で行われた。



各種入試結果

法科大学院<第一期>

法学未修者(3年制)には126人(前年125人)、同既修者(2年制)には273人(同266人)の出願があり、第1次選抜を経た第2次選抜(最終)合格者数は、未修者24人(同20人)、既修者67人(同79人)の計91人(同99人)。

第二期(未修者のみ)の出願期間は、1月29日(月)から2月5日(月)となっている。

【問】法科大学院事務課 電話 03(3265)6891

ネットワーク情報学部AO入試

117人(前年97人)の志願者があり、第1次選考(書類審査)を通過した79人(同55人)が第2次選考(面接)に進み、49人(同32人)が合格した。

帰国生入試

27人(前年22人)の志願者があり、7人(同9人)が合格した。

学科の内訳は、国際経済4、法律1、マーケティング1、心理1となっている。

《健康フラッシュ》

「死ぬまで飲ませるバカがいる」

「これぐらいなら大丈夫だと思った」「自分とその周りだけは平気だったはず」……

最近の飲酒運転報道で加害者が事故後に出しているコメントである。間もなく学園祭や忘年会の季節を迎える。これらのイベントには酒がつきものだが、アルコールの適量や致死量は人によって生まれつき全く違うということが認識されていないために、楽しいはずの集まりがとんでもない事態を引き起こす。肝臓内の酵素が遺伝子のレベルで欠如している場合や弱い人が存在する。そういう人には毒物を飲んでいるのと同じでまた、酵素のある人でも短時間での大量飲酒はその日の体調等で予期せぬ事態を引き起こしかねない。カゼをひいていたのに無理に飲んで暴れて救急車で搬送され、脳炎と間違われて処置されようとした、新歓コンパで無理やり1年生が飲まされ、意識不明の重体に陥り、地方からご両親を大至急で呼び出した、等これらは実際に私が救急外来で遭遇した学生の醜態である。その時に耳にしたのが、付き添ってきた仲間(圧倒的に先輩が多い)の、冒頭と全く同じセリフである。前述のご両親は、先輩や仲間を訴えるといわれていたが、これも飲酒運転で飲ませた方や店が処罰の対象とされたのと同じ意見であろう。

若いからというのは、将来があるからという意味であって不死身ではない。

「死ぬまで飲ませるバカがいる」——時期はやった警告のポスターがそんな仲間からは早々に抜けることを勧めていたのを思い出す。

(保健室・代表学校医 成田信義)

専大ベンチャービジネスコンテスト

3年連続出場の須田さんに「鳳賞」

「分かりやすく、楽しいプレゼンを」

キャリアデザインセンター主催「専大ベンチャービジネスコンテスト」のプレゼンテーション大会が11月5日、生田キャンパスで行われた。応募総数40点から、第1次審査を通過した9点がプレゼンテーション大会に進出。オリジナリティーあふれるビジネスプランを披露した。

内原康雄さん(昭63経営=(株)エヌシーネットワーク代表取締役社長)ら外部審査員7人と、池本正純同センター長ら本学教員4人による審査の結果、3年連続出場の須田耕治さん(経営3)の「アド☆ロッカー♪」が最優秀賞「鳳賞」を獲得。「分かりやすく、楽しいプレゼンを心がけていましたので、その部分を評価していただき、うれしいです。コンテスト出場でプランニングやプレゼンの力が鍛えられたと思います」と話した。

また、あずさ監査法人特別賞に「手軽な健康管理 健康チェックボックス」(三浦なぎささん=経営3)が、育友会長特別賞に「アド♪Media～店内放送を広告媒体として活用するサービス～」(代表・熊谷陽さん=ネット情報3)が選ばれた。

※その他の入賞者、作品等、詳細はキャリアデザインセンターホームページをご覧ください。

三曲研究会定期演奏会

古典から現代曲まで400人が邦楽堪能

箏(そう)、三味線、尺八による三曲研究会(足立剛介代表・文3、会員54人)の第38回定期演奏会が10月22日、川崎市の麻生文化センターで開催された。若さあふれる演奏が披露され、400人の聴衆を楽しませた。

曲目は、1年次生による「八千代獅子」、古典の「五段砧」「越後獅子」、4年次生の集大成となった「小組曲」、南国への郷愁を誘う「琉球民謡による組曲」、2、3年次生全員による大合奏「二つの舞曲」=

写真=など、この日は伝統曲から現代曲まで

全11曲。和楽器3種の美しい音色が見事なハーモニーを生み出し、会場からは惜しめない拍手が寄せられた。



多摩区民祭に参加

生田緑地を会場に10月21日に行われた多摩区民祭に今年も多摩区三大学として、本学、明治大学、日本女子大学が協力した。

本学からは、大学紹介ブースのほか、専修大学フィルハーモニー管弦楽団、吹奏楽研究会、ダンスチームミサキ(DTM)の学生と、中南米研究同好会のOBが日ごろの練習成果を披露した。



学生部主催

手話講習会

学生部主催の手話講習会が9月から10月にかけて、全6回行われた。森都講師の指導のもと、12人が真剣に取り組んだ。